

# 中国残留邦人への 理解を深める 長野県民の集い

63年前、当時「満州」と呼ばれていた中国の東北地方では、突然のソ連参戦により、多くの日本人が混乱のうちに避難することになりました。極限状態の中、親と別れ中国人に育てられた人々、中国に生活の場を見いだした人々、これらの方々が中国残留邦人と呼ばれる人々です。

1972年の日中国交正常化の後、多くの中国残留邦人が帰国しました。帰国した中国残留邦人の方々は、生活基盤を築こうと懸命の努力を続けていますが、長年の中国における生活が日本における適応を難しくしています。今もなお言葉の壁、文化の壁に戸惑い、悩んでいる方が少なくありません。

長野県は、戦前全国一「満州」に開拓団を送出した県であり、県内に約4,300名の中国帰国者が生活しています。

(財)中国残留孤児援護基金では、厚生労働省の委託を受けて、戦争を知らない世代の方を含む多くの国民の皆様方に、こうした中国残留邦人の問題について少しでも知っていただくこと、この催しを長野県で開くことといたしました。この催しが、中国残留邦人の方々が抱える様々な困難を解決する一助となることを願っています。

**申し込み方法** 申し込み締め切り：2009年1月26日(月) 必着

- **FAXの場合**  
下の申込書に必要な事項を明記し、下記までご送信ください。  
**[FAX] 026-224-6518**
- **郵送の場合**  
下の申込書に必要な事項を明記し、切り取って下記までお送りください。  
〒380-0936 長野県長野市中御所岡田町166-1  
日中友好センター内 長野県日中友好協会事務局
- **Eメールの場合**  
下の申込書の事項を明記して次のアドレス宛へ送信してください。  
[jcfan@mx1.avis.ne.jp](mailto:jcfan@mx1.avis.ne.jp)  
※応募多数の場合は抽選となります。  
※ご登録いただいた個人情報は、このシンポジウムの運営業務のみに利用し、終了後速やかに廃棄します。  
シンポジウムに関するお問合せは ☎026-224-6517 (平日9:00~18:00)

## プログラム

- 第一部 (10:00~12:30)
- **陽二蓮(ヤン・アーレン)と  
東京中国歌舞団による歌と演奏**

中国民族楽器の演奏をバックに、日本の歌などを歌います。



### 陽二蓮

中国上海出身。上海歌劇院で声楽を学び、上海歌謡界で活躍。1983年来日、NHK外国人歌謡大会で金賞受賞。93年より毎年リサイタルを開催し、15年間中国養父母慰問コンサートも続けている。映画主題歌、CM、テレビ出演等、幅広い音楽活動を展開する。89年から東京中国歌舞団の定期コンサートに歌手と司会で活躍。NHK BSI「アジアクロスロード」で紹介される。



### 東京中国歌舞団 (団長・劉錦程)

1982年、在日中国音楽家が「自分たちができる音楽を通じて日中文化交流、友好親善の架け橋になりたい」という思いで、結成。メンバーは、中国の音楽大学や舞踊学院を卒業し、各地の民族楽団や歌舞団に所属した経験を持つ中国音楽界の第一線で活躍していた演奏家・歌手・舞踊家で、いずれも中国および日本でも高い評価を得ている。現在は「演奏部」「声楽部」「舞踊部」に加え「中国雑技」「京剧」も取り入れた総合的な芸術団体となり、様々な形で中国歌舞芸能を紹介している。

- **中国帰国者の体験発表**

残留婦人、残留孤児、孤児二世及び孤児三世が、中国における労苦、養父母への想い、帰国した喜び、悩み、葛藤などを語ります。

- 第二部 (12:30~15:00)

### ● 春節交流会

中国帰国者と近隣の方々などが中国のお正月である春節を祝い、獅子舞や大正琴などを披露します。また、餅つきをして、参加者に振る舞います。

申込書 **FAX 026-224-6518**

ふりがな		年齢
お名前		
〒 ご住所		
電話番号	職業	

※参加にはお名前の登録が必要です。複数でお申し込みの場合はコピーをおとりいただくか、別紙に同事項をご記入の上お申し込みください。